

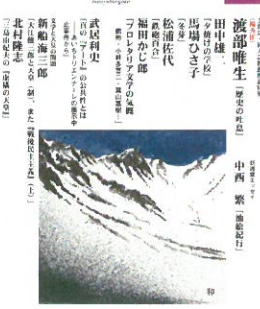
TEL 03-5940-6335 FAX 03-5940-6339
メール info@minsyubungaku.org
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-29-9 -202

民主文学 1

月号から新連載スタート

この機会に、『民主文学』をぜひご購読ください。

民主文学 12



野里征彦 (のざと・いくひこ)
一九四四年生まれ。陸前高田市出身・大船渡市在住。映画少年から様々な職業を経て五十四歳で作家生活に入る。主著に『カシオペアの風』(三二書房)『こつなぎ物語』(本の泉社)『スローワルツを渚で』(同)などがある。



わが心、高原にあり

気仙郡住田町を舞台に繰り広げられる再生の物語

「貞介さん。それにしても、ある十年も持つろうがどう、こんなさびれた村っこさ、ひゃ百年も二百年も持つような屋敷、ようぐ、たた建てる気に、なな、なつたねっす」

決して悪気のある言葉ではなかった。
むしろおもねるような調子だったが、このとき貞介さんのしわが急にひきつれたように歪んだのをぼくは見逃さなかった。

.....
誰もが、この集落の将来を心配しているとぼくは思った。だが一〇年か二〇年するうちに消えてなくなりそうな村とか集落というのは、今のこの日本におそらく数え切れないほどあるのではないだろうか。

(本文中より)

作者の言葉

過疎というのは問題として取り上げにくいし、運動にもなりにくい。ましてや小説のテーマとして華やかではない。だが自分の街が、身の周りでじわじわと欠け落ちていくようなのは住んでいて穏やかではない。問題提起だとか展望を示すなどという、だいそれたことは考えていないが、そうした中での人々の暮らしの佇(たたず)まいを描写することに、なにがしかの意味を見いだせないかとの、祈りのような儚(はかな)い思いで筆をとった作品である。

★下の用紙を切り取って、FAXあるいは郵送でお申込ください。雑誌は直接ご自宅にお送りします。

購読申込書

申し込み

月 日

民主文学購読費 月額988円(送料込み)

FAX番号 03 (5940) 6339

いずれかに○印をつけてください。

- () 1月号より定期購読する。
- () 「わが心、高原にあり」連載中期間のみ定期購読する。

お名前

ご住所 〒

電話番号